



水稻緊急情報



令和 7 年 7 月 31 日
JA えちご中越さんとう営農センター



注意

**令和 5 年を上回る葉色低下！！
出穂期前に追加の穂肥を！！**

**過去最も品質低下を受けた令和 5 年以上に高温かつ雨が
少ない状況です！走り穂が出ていても追加の穂肥を！！**

(1)コシヒカリの葉色が淡いほ場では、下表を参考に出穂期前に窒素成分 1～2kg/10a を目安に追加の穂肥を施用してください(出穂期の葉色目安:SPAD 値 33)。

(2)全量基肥施肥のほ場でも、葉色が淡い場合は追加の穂肥を施用してください。

(3)施用効果を高めるために、飽水管理を徹底しましょう。

品質向上のため、もうひと踏ん張り
お願いします！！

©ワンジャ



【 コシヒカリ 5 割減栽培における追加穂肥の目安 】

施肥条件		判断時期と 葉色値の目安	残りのトータル 化学窒素量	使用肥料 例	10a あたり施用目安 *()内は有機含む全窒素量
分 施	3回目 穂肥	出穂期3日前 葉色値 31 以下	0.5～1.0 Nkg	ドローン用尿素 43 ※1	出穂期3日前 1.1kg(0.5Nkg)～ 2.3kg(1.0Nkg)
		出穂期6日前 葉色値 33 以下	0.5 Nkg	越後の輝き 有機 50 穂肥 ※1	出穂期3日前 8.3kg(1.0Nkg)
				さんとう穂肥有機 ※1	出穂期3日前 4.0kg(0.56Nkg)
			0 Nkg	みらい有機 831 ※2	出穂期6～3日前 12.5kg(1.0Nkg)
全 量 基 肥	追肥	出穂期の葉色値が 32～33 を下回ると 予想されるとき	0.5～1.0 Nkg	ドローン用尿素 43 ※1	出穂期 10 日前 1.1kg(0.5Nkg)～ 2.3kg(1.0Nkg)
		出穂期 10 日前後 葉色値 30 以下	0 Nkg	みらい有機 831 ※2	出穂期 10～5 日前 25kg(2.0Nkg)

※1 トータル化学窒素 3.5kg/10a 以内で施用してください

※2 他の有機質 100%肥料でも代替可能です(例:鶏ちゃんパワー など)

緊急告知 8/2(土)のみ、あぐりセンター臨時営業いたします！

さんとう地区ではこの度、穂肥時期の急激な葉色低下が稲に与える影響を重く受け止め、
当初は各あぐりセンターの 8 月 2 日(土)～8 月 17 日(日)の 土・日・祝日 の休業を予定しておりましたが、緊急対策として **8 月 2 日(土)午前 時間帯のみ 臨時営業** いたします！

コシヒカリを中心とした中生～晩生品種の品質向上を目指し、是非ご利用ください！！

裏面のフェーン・異常高温緊急情報(新潟県)もご確認ください！

フェーン・異常高温緊急情報 第1号

令和7年7月29日
新潟県農林水産部

7月30日～8月4日は高温・乾燥のおそれ 飽水管理を継続・水分保持！

気象状況



- 新潟地方気象台が7月28日11時に発表した「新潟県の天気予報（7日先まで）」では、7月30日から最高気温は32～38℃、最低気温は24～28℃と高温が予報されています。
- また、台風の進路によっては高温・乾燥条件が発生するおそれがあります。

出典：気象庁ホームページ

気象庁「台風情報・全ての台風（台風経路図）」を加工して作成
(<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/35.258/143.424/&elem=root&typhoon=all&contents=typhoon>)

当面の管理対策

- コシヒカリは出穂期と重なり、白穂や不稔が発生しやすい時期です。こしいぶきは、変色粳や白未熟粒が発生しやすい時期です。
- 高温・乾燥条件が続く間は、可能な限り土壌が湿った状態を維持できるように飽水管理を継続しましょう。
- 水が行き渡ったら速やかに水口を止めましょう。

農作業中は、熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意しましょう。

飽水管理のイメージ



農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。
かけ流しは絶対にやめましょう。

フェーン現象については、気象庁ホームページを参照してください。
(https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/hokuriku/column01.html)